

会派名

創風会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目		金額	小計	
1	調査研究費 行政調査に係る旅費 (福島市、いわき市、新地町等)	交通費	旅費	247,887	247,887	
		資料作成費	調査委託費			
2	研修費	会場費	講師謝金			
		交通費	旅費			
		資料作成費	食糧費			
3	広報費	会場費	交通費			
		資料作成費	広報誌(紙)			
		送料(折込料含む)	ウェブページ掲載代			
		振込料				
4	広聴費	会場費	交通費			
		資料作成費	茶菓子代			
5	要請・陳情活動費	交通費	旅費			
		資料作成費	振込料			
6	会議費	会場費	交通費			
		資料作成費	振込料			
7	資料作成費	印刷製本費	翻訳料			
		振込料				
8	資料購入費	法規追録代	参考図書代			
		有料データベース等利用料	振込料			
9	人件費	賃金	社会保険料等			
10	事務所費	備品購入費	事務機器等リース代			
		印刷代	振込料			
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)	郵便料等			
		その他				
使用者	共通	ⓐ 支出年月日	現金出納簿 支出番号	9	合計	247,887 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 9

会派会長様

申請代表者氏名 佐藤 徹哉



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	247,887 円 ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政調査	
用務先	福島市、いわき市、新地町など	
内容	復興道路等について 沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて 沿岸部の復興について など	
期間	28年 6月 6日 ~ 28年 6月 7日（1泊 2日）	
行程	別紙のとおり	
出張（調査等）者氏名	・大内 嘉明	・諸越 裕
	・七海 喜久雄	・川前 光徳
	・遠藤 義裕	・佐藤 徹哉
	・佐藤 政喜	・大木 進
	・久野 三男	・山口 信雄
	・近内 利男	・佐藤 栄作 ・森合 秀行
特記事項	・公明党、但野光男議員参加	

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	28年 5月26日
			許可日	28年 5月26日
			支出日	28年 5月26日

上記金額を受領しました。

28年 5月26日

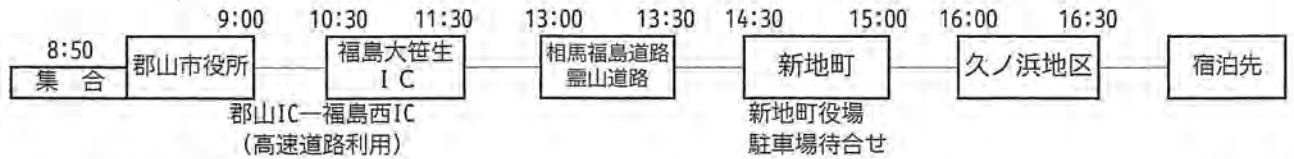
申請代表者氏名 佐藤 徹哉



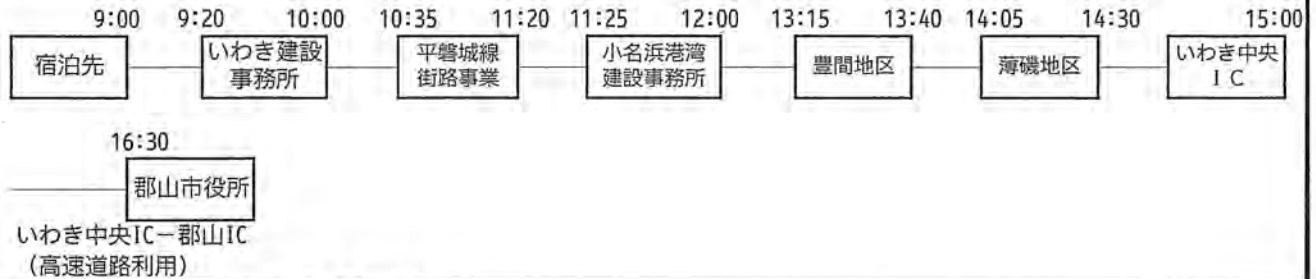
平成28年度 創風会・郡山市議会公明党行政調査行程表、旅費計算

1 行程

□ 1日目：6月6日（月）



□ 2日目：6月7日（火）



2 人員 14 名

(創風会)
 大内 嘉明 議員
 七海 喜久雄 議員
 遠藤 義裕 議員
 佐藤 政喜 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 諸越 裕 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 大木 進 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

(郡山市議会公明党)
 但野 光夫 議員

3 内容

- 平成28年6月6日（月）
 - ・復興道路等について（大笹生IC、相馬福島道路）
 - ・沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて（新地町沿岸部）
 - ・沿岸部の復興について（久ノ浜地区）
- 平成28年6月7日（火）
 - ・沿岸部の復興について（復興計画、薄磯・豊間地区、平磐城線、小名浜港背後地、小名浜東港等）

4 連絡先

- 福島県いわき建設事務所
 復旧・復興部長 加藤様
 電話：0246-35-6046 FAX：0246-35-6070
- 企画管理部 企画調査課長 遠藤様
 電話：0246-24-6116 FAX：0246-24-6058
- 福島県相双建設事務所
 青木部長
 電話：0244-26-1185
- 福島県小名浜港湾建設事務所
 企画調査課長 笹本様
 電話：0246-53-7126 FAX：0246-53-7130

5 旅費計算 (創風会分)

バス借り上げ料 (高速代含む)	208,887円
日当	1,500円 × 2日 × 13人 = 39,000円
合計	247,887円

6 その他

バス借り上げ料 (高速代含む)	
創風会負担分	208,887円
公明党負担分	16,068円

御見積書

創風会 様

下記の通り御見積り申し上げます。
よろしくお願ひ致します。

郡山観光交通株式会社
代表取締役 山口 松之進

〒963-0105

福島県郡山市安積町長久保11-2-7

TEL (024) 947-0808

FAX (024) 945-1324

担当

運行日 2016/6/6~7

御見積金額

¥224,955 消費税込み

項目	数量	単価	消費税	金額
大型バス(45+9席)2日間	1	216,015	込	216,015
郡山IC~福島西IC	1	2,970	込	2,970
いわき中央IC~郡山IC	1	5,970	込	5,970
			合計	224,955

<備考>

●キャンセル料●

配車日14日前~8日前

20%

配車日7日前~24時間前

30%

配車日時の24時間前以後

50%

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 9

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・大内 嘉明		・諸越 裕	
・七海 喜久雄		・川前 光徳	
・遠藤 義裕		・佐藤 徹哉	
・佐藤 政喜		・大木 進	
・久野 三男		・山口 信雄	
・近内 利男		・佐藤 栄作	
		・森合 秀行	

記

期 間	28年 6月 6日 ~ 28年 6月 7日（1泊 2日）					
目 的	行政調査					
用 務 先	福島市、いわき市、新地町等					
行 程	別紙行程表のとおり ※調査先視察時間変更に伴い、行程が一部変更になったため					
内容及び成果						
	別紙のとおり					
旅 費 精 算	受領額	247,887 円	精算額	253,895 円	不足額	6,008 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

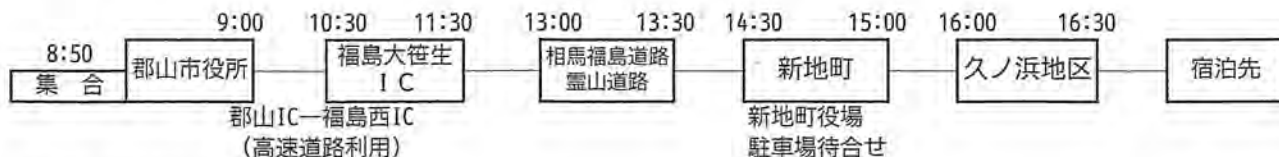
会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	28年 6月 16日
			確 認 日	28年 6月 16日
			精 算 日	28年 6月 16日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

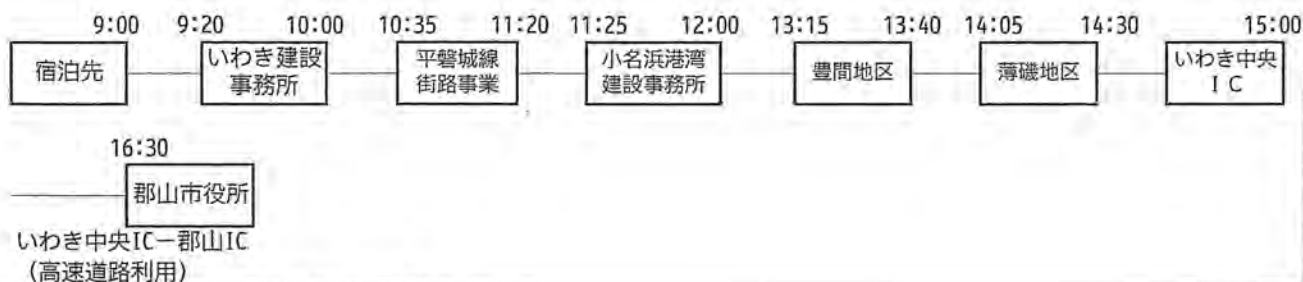
平成28年度 創風会・郡山市議会公明党行政調査行程表、旅費計算

1 行程

□ 1日目：6月6日（月）



□ 2日目：6月7日（火）



2 人員 14 名

(創風会)
 大内 嘉明 議員
 七海喜久雄 議員
 遠藤 義裕 議員
 佐藤 政喜 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 諸越 裕 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 大木 進 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

(郡山市議会公明党)
 但野 光夫 議員

3 内容

- 平成28年6月6日（月）
 - ・復興道路等について（大笹生IC、相馬福島道路）
 - ・沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて（新地町沿岸部）
 - ・沿岸部の復興について（久ノ浜地区）
- 平成28年6月7日（火）
 - ・沿岸部の復興について（復興計画、薄磯・豊間地区、平磐城線、小名浜港背後地、小名浜東港等）

4 連絡先

- 福島県いわき建設事務所
 復旧・復興部長 加藤様
 電話：0246-35-6046 FAX：0246-35-6070
- 企画管理部 企画調査課長 遠藤様
 電話：0246-24-6116 FAX：0246-24-6058
- 福島県相双建設事務所
 青木部長
 電話：0244-26-1185
- 福島県小名浜港湾建設事務所
 企画調査課長 笹本様
 電話：0246-53-7126 FAX：0246-53-7130

5 旅費計算

(創風会分)
 バス借り上げ料 (高速代含む) 208,887円
 日当 1,500円 × 2日 × 13人 = 39,000円
 合計 247,887円

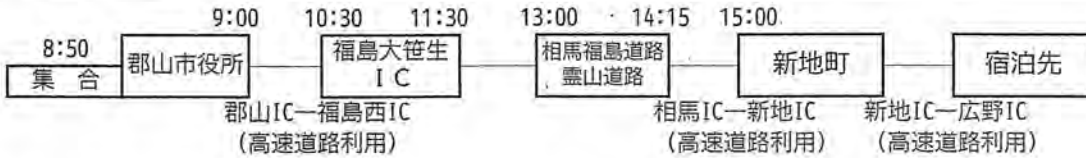
6 その他

バス借り上げ料 (高速代含む)
 創風会負担分 208,887円
 公明党負担分 16,068円

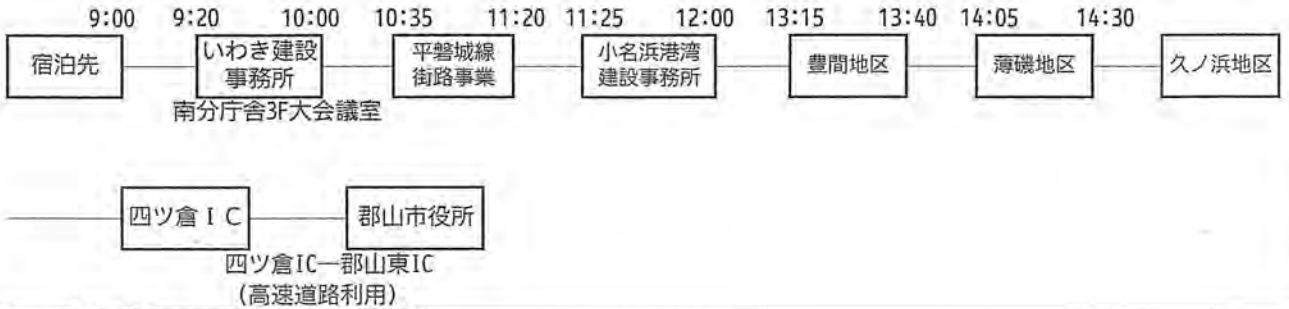
平成28年度 創風会・郡山市議会公明党行政調査行程表、旅費計算（行程変更後）

1 行程

□ 1日目：6月6日（月）



□ 2日目：6月7日（火）



2 人員 14 名

(創風会)
 大内 嘉明 議員
 七海 喜久雄 議員
 遠藤 義裕 議員
 佐藤 政喜 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 諸越 裕 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 大木 進 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

(郡山市議会公明党)
 但野 光夫 議員

3 内容

- 平成28年6月6日（月）
 - ・復興道路等について（大笹生IC、相馬福島道路）
 - ・沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて（新地町沿岸部）
 - ・沿岸部の復興について（久ノ浜地区）
- 平成28年6月7日（火）
 - ・沿岸部の復興について（復興計画、薄磯・豊間地区、平磐城線、小名浜港背後地、小名浜東港等）

4 連絡先

- 福島県いわき建設事務所
 復旧・復興部長 加藤様
 電話：0246-35-6046 FAX：0246-35-6070
- 企画管理部 企画調査課長 遠藤様
 電話：0246-24-6116 FAX：0246-24-6058
- 福島県相双建設事務所
 青木部長
 電話：0244-26-1185
- 福島県小名浜港湾建設事務所
 企画調査課長 笹本様
 電話：0246-53-7126 FAX：0246-53-7130

5 旅費計算

(創風会分)	
バス借り上げ料 (高速代含む)	214,895円
日当	1,500円×2日×13人=39,000円
合計	253,895円

6 その他

バス借り上げ料 (高速代含む)
 創風会負担分 214,895円
 公明党負担分 16,530円

領 収 証

様

No. _____

金額

¥231,425-

内 訳

現金

小切手

手 形

消費税額等(%)

但

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

6月6日 現金

2023年6月15日 上記正に領収いたしました

福島県郡山市安積町長久保一丁目2番地の1

株式会社 孫 の 手

代表取締役 山口 松之進



報告書

復興道路等について（大笹生 IC、相馬福島道路）

東北中央自動車道の（仮称）福島 JCT から（仮称）大笹生 IC までの延長 1,4km の区間の整備状況と国道 115 号相馬福島道路の霊山道路、月舘高架橋、境ノ目トンネルの整備状況を視察した。大笹生 IC は、東北自動車道の福島飯坂 IC と福島西 IC の中間地点より東北中央自動車道として福島 JCT から福島大笹生 IC までの延長 1,4km が今年の秋までに開通する見込みである。福島市では、東北中央自動車道の整備に合わせ、大笹生 IC 付近に新たな工業団地と道の駅の一体整備を行う方針を出しており、開通により、観光産業の活性化や新たな就労場の創出に繋がる。続いて国道 115 号相馬福島道路の霊山道路、月舘高架橋の整備状況を視察した。この道路は復興支援道路として位置づけられており、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約 4.5 km の全線開通を平成 30 年度目標としているが、開通すれば、救急医療施設への搬送時間短縮等、速達性が向上する。

沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて（新地町沿岸部）

新地町沿岸部の相馬都市計画緑地事業 4 号埴浜防災緑地の整備状況を視察した。この事業は、海岸堤防、県道相馬亘理線、新地町土地区画整理事業等と一体的に津波の減衰を図り、背後地への津波の浸水を抑制することで総合的な防災力が向上したまちづくりを目指して整備するもので、埴浜防災緑地整備事業の全体事業費は約 5.3 億円で平成 31 年度供用開始予定である。

沿岸部の復興について（復興計画、平磐城線、小名浜港背後地、小名浜東港等、薄磯・豊間地区、久之浜地区）

沿岸部の復興については、まず福島県いわき建設事務所にて復興計画ヒアリング後、平磐城線の小名浜工区街路事業、小名浜港背後地等整備事業を視察した。小名浜港背後地整備事業については、小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクトとして、震災復興土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業、小名浜港背後地まちなか回遊性向上事業等、各種事業が平行して行われており、平成 31 年度には全て整備される予定となっている。小名浜工区については、いわき建設事務所の関連事業として、小名浜港背後地における、各種復旧、復興事業とともに、「港と市街地の一体的なまちづくり」の実現に向け、復興交付金事業として平成 24 年度から事業を進めている。続いて小名浜港湾建設事務所にて、小名浜港の被災時の状況から復旧までの説明を受けた後、事務所屋上にて現場を見ながら、今年度完成予定

となっている、小名浜東港の東港橋梁の整備状況及び各ふ頭の整備状況と役割の説明を受けた。その後、薄磯、豊間地区沿岸部の復興状況を視察した。両地区とも震災前の状況とは一変し、工事車両が頻繁に往来し、嵩上げ海岸堤防整備や造成工事が着々と進められていた。ここの両地区も県の嵩上げ海岸堤防整備、防災緑地整備事業と市の土地区画整理事業等、一体的なまちづくりが推し進められている。最後に、地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館屋上にて、久之浜地区の復旧・復興工事状況を視察した。久之浜地区の復興まちづくりの基本的視点として、災害に強い地域づくり、観光等地場産業の復興、水辺、自然環境を活かした地区の復興を掲げ整備中である。この地区も新地町、薄磯、豊間地区同様、防災緑地整備、嵩上げ海岸堤防整備など県事業と、市で行う区画整理事業等など一体的な整備が県、市連携のもと進められている。

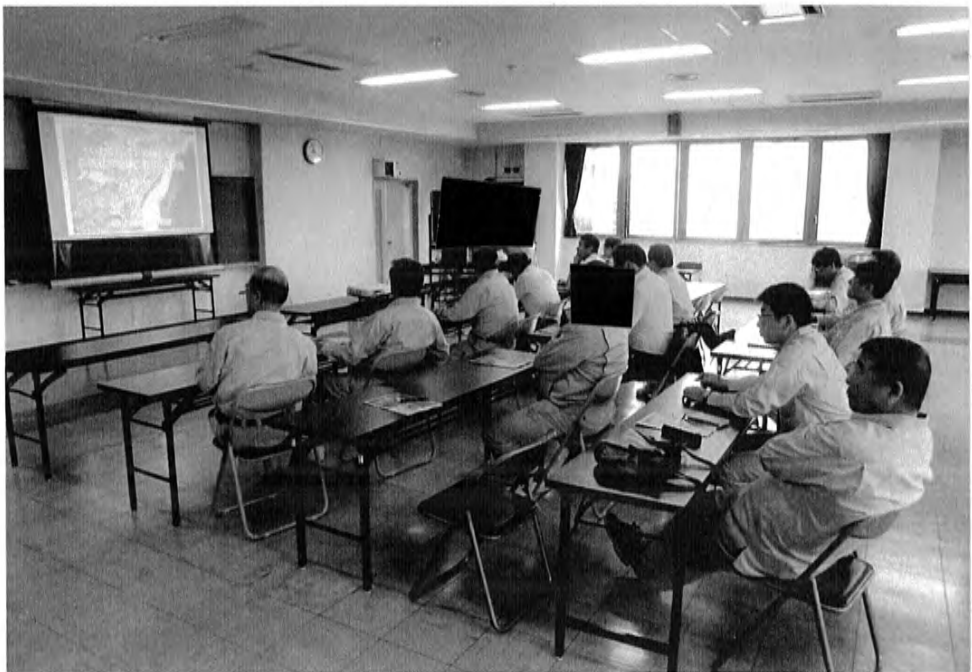
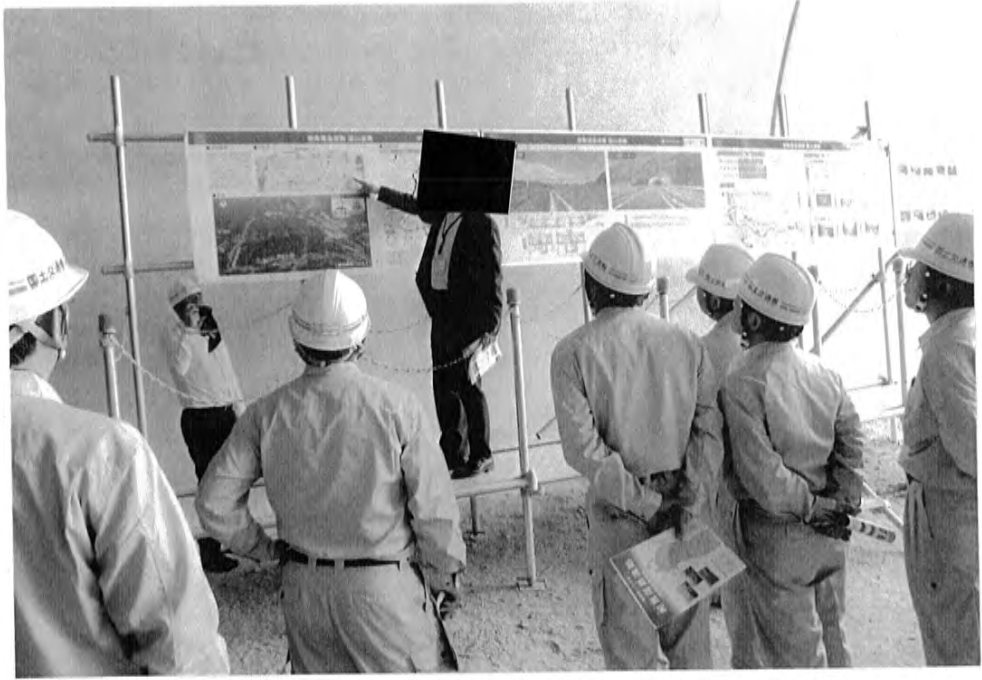
今回、復興道路等について、沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて、沿岸部の復興についてと3つのテーマのもと行政視察を行ったが、国、県、市町村が連携し、しっかりとした復興計画のもとインフラ整備、新しいまちづくりが推し進められ、一步一步着実に復興に向けた取り組みがなされていると感じた。本市においても、県施設の利活用及び周辺整備について福島県と本市がしっかりと連携し、さらなる発展と活性化に繋げていくべきだと強く感じた。

(文責： 創風会 佐藤 栄作)



福島県小名浜港湾建設事務所







国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所
Fukushima office of River and National Highway

建設監督官

たか はし ただ くに
高橋 忠国

Takahashi Tadakuni

〒992-1331 米沢市板谷字鎌沢529-20
(栗子国道維持出張所内)
Tel. 0238-34-2221 Fax. 0238-34-2223
E-mail: [redacted]
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

がんばろう!東北



ふくしま
復興

<http://keitai.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所
Fukushima office of River and National Highway

計画課長

か とう けい いち
加藤 桂一

Katou Keiichi

〒960-8584 福島市黒岩字榎平36番地
Tel. 024-539-6132(直通)
携帯 [redacted]
E-mail: [redacted]



国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所
Fukushima office of River and National Highway

計画課 企画係長

なが くら かず ゆき
長倉 和行

Nagakura Kazuyuki

〒960-8584 福島市黒岩字榎平36番地
Tel.024-539-6132(直通) Fax.024-545-5470
Tel.024-546-4331(代表)
E-mail: [redacted]
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



道路の真状は
緊急ダイヤル
#9910
無料 24時間受付

<http://keitai.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

地域の未来をあなたとともに。

福島県相双建設事務所



ふくしまから
はじめよう。

復旧・復興部

復旧・復興部長

主幹

あ お き た か な お
青木 隆直

道路緊急

ダイヤル

#9910

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町1丁目30番地
TEL 0244-26-1185 FAX 0244-26-1197
URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41370a/>
E-mail: [redacted]

○福島県

福島県いわき建設事務所



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

所長

ヤスタ

安田

Yasuta

ヒロミチ

博道

Hiramichi

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地
TEL:0246-24-6100 FAX:0246-24-6058
E-mail: [redacted]
URL:<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/>

○福島県

福島県いわき建設事務所



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

復旧・復興部

主幹兼復旧・復興部長

カトウ

加藤

Katou

ヤスヒロ

保浩

Yasuhiro

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地
TEL:0246-35-6046 FAX:0246-35-6070
E-mail: [redacted]
URL:<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/>

○福島県

小名浜港湾建設事務所



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

所長

わだ

和田

ゆたか

豊

技術士 (総合技術監理部門・建設部門・上下水道部門)
1級港湾保安管理士・1級土木施工管理技士

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町56番地
TEL (0246) 53-7118 FAX (0246) 53-7130
E-mail: [redacted]

電子メール
m=2275

秋の行楽の道路
は復興事業

記者発表資料

復興支援事業
では有り

平成28年 2月17日
国土交通省 福島河川国道事務所
福島県

東日本高速道路㈱東北支社福島管理事務所

①

東北中央自動車道 福島JCT～福島大笹生IC間
「秋の行楽シーズン前までに」開通します
～観光・農業の振興等に貢献します～

国土交通省、福島県、東日本高速道路㈱が事業を進めて参りました東北中央自動車道のうち、福島JCT（ジャンクション）から福島大笹生IC（インターチェンジ）までの延長1.4Kmが「秋の行楽シーズン前までに」開通する見込みとなりましたのでお知らせ致します。

あわせて、JCT、IC等の名称が決定しましたので、お知らせ致します。

今回の開通によって、次の効果等が期待されます。

- 効果1：温泉地や観光果樹園へのアクセス向上により、観光・農業振興を支援
- 効果2：福島西部地区工業団地へのアクセス向上により、企業活動を支援
- 効果3：県内有数のスポーツ施設へのアクセス向上により、スポーツ交流拡大を支援

1. 開通区間

東北中央自動車道 福島JCT～福島大笹生IC（延長1.4Km）

2. 路線名及びJCT、ICの正式名称

路線名 東北中央自動車道（通称名：東北中央道）

（仮称）福島JCT → 福島JCT

（仮称）大笹生IC → 福島大笹生IC

3. その他

開通日、開通式典等の日時については決定次第、お知らせ致します。

<記者発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、山形県政記者クラブ
米沢記者倶楽部、山形建設業界専門紙>

【 問合せ先 】		
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所	TEL 024-546-4331(代)	
(道路担当) 副所長 赤坂 浩	(内線205)	
福島県 土木部 高速道路室	TEL 024-521-7885(直通)	
室長 鈴木 秀彦	(内線3580)	
東日本高速道路㈱ 東北支社 福島管理事務所	TEL 024-542-0111(代)	
(技術担当) 副所長 林 克之		

トニールは
このクリップを
保管部
たか
工期がかかる

至福島市

至米沢市

東北中央自動車道

福島〜米沢北

新長老沢橋

国道13号

至米沢市



福島わらじまつり



米沢上杉まつり

より快適に、より安全に

栗子峠の新たな架け橋



国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 山形河川国道事務所

一般国道115号

そ う ま ふ く し ま

相馬福島道路

(復興支援道路)

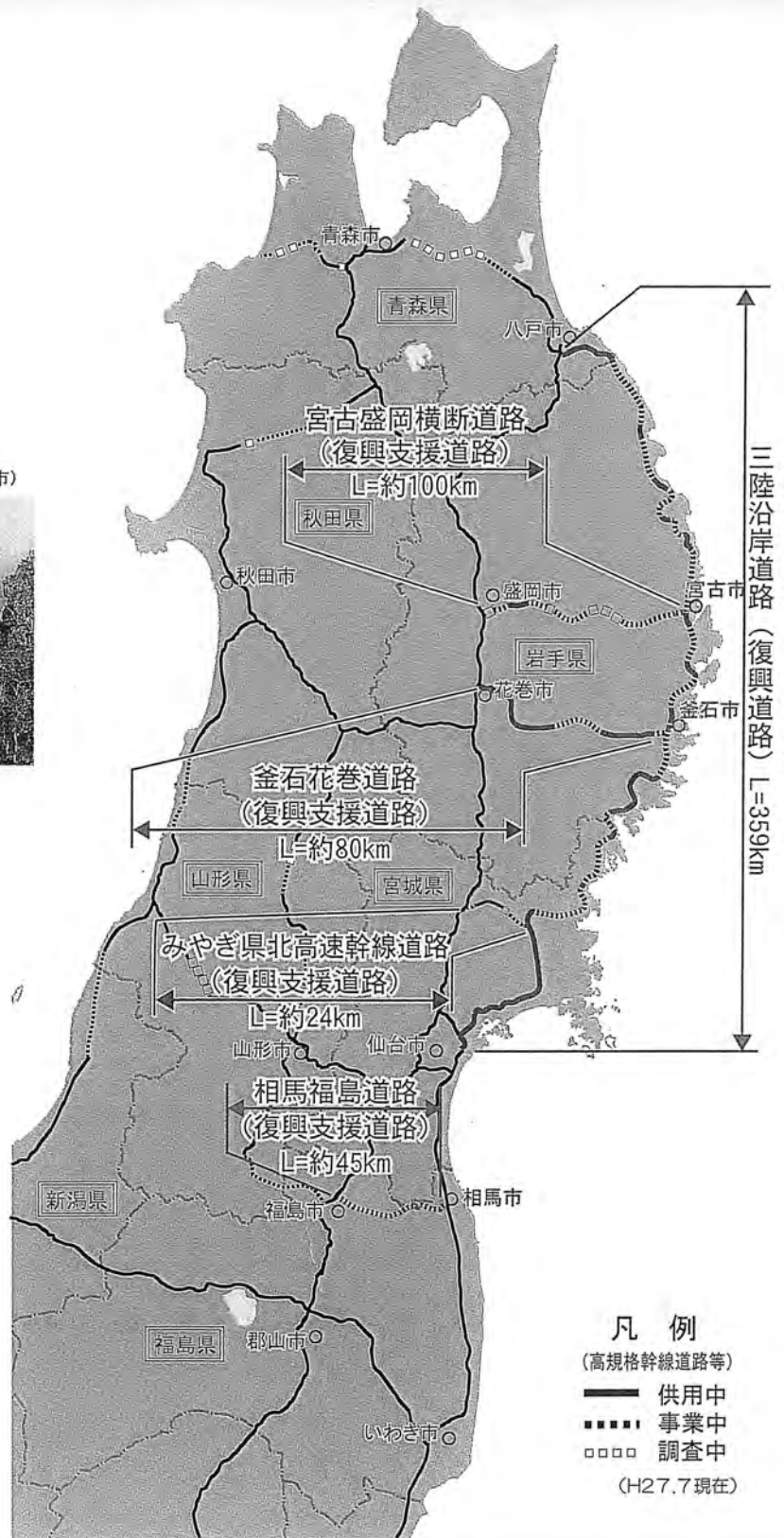
花見山(福島市)



霊山(伊達市)



松川浦(相馬市)



復興道路、復興支援道路

東日本大震災復興構想会議において、「太平洋沿岸（三陸縦貫道等）の緊急整備や、太平洋沿岸と東北道を繋ぐ横断軸の強化について、整備スケジュールを明確にした上で、重点的に進めるべき」との提言を受け、復興道路として三陸沿岸道路の整備、復興支援道路として東北中央自動車道（相馬福島道路）のほか、宮古盛岡横断道路、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石花巻道路）の整備が実施されています。

凡例

- (高規格幹線道路等)
 - 供用中
 - 事業中
 - 調査中
- (H27.7現在)

国道115号 月館高架橋上部工工事

復興支援道路



Tsukidate Viaduct on Route 115

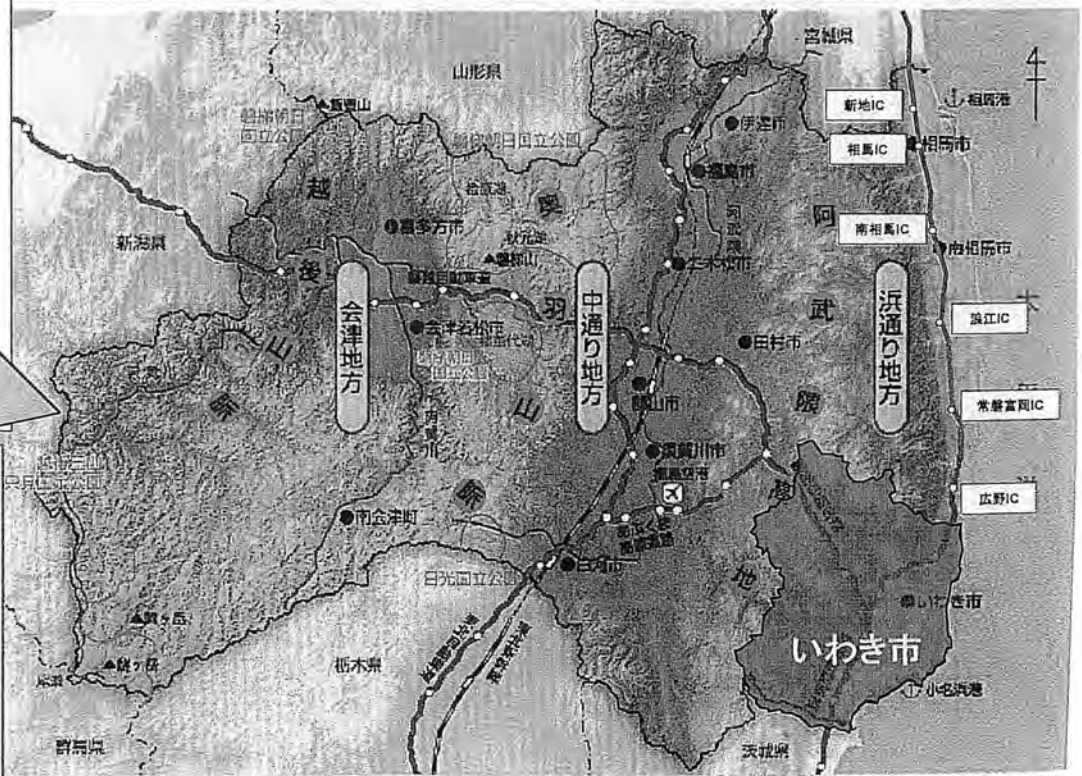
いわき建設事務所管内 被災状況及び復旧・復興状況

福島県いわき建設事務所

鳥瞰パースは、イメージであり、実際の宅地や建物等とは異なり、
 現在、一部詳細計画の取組を予定しています

H28年度概算

福島県・いわき市の位置



【福島県】
 面積：13,800km²
 人口：190万人

【いわき市】
 面積：1,230km²
 人口：34万8千人
 (※H28.5月1日現在)

この地図は、国土院の「数値地図50万メッシュ(標高)日本」を引用しています

平成28年度 創風会・郡山市議会公明党行政調査

① 加藤 雅也
② 高橋 洋長

小名浜港背後地等整備 説明資料

(交通人口目標
500万人)
(現在 180万人
位)



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成28年6月7日(火)

福島県いわき建設事務所



会派名

創風会

支出調書


代表者	経理責任者	起案者

区分	事由	費目金額				小計	
1	調査研究費	行政調査(双葉地方)(七海喜久雄、大城宏之、久野三男、近内利男、川前光徳、浜津和子、山口信雄、佐藤栄作、森合秀行)旅費	交通費	旅費	109,500	自動車燃料費	109,500
			資料作成費	調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費	講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	食糧費		振込料	
3	広報費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)	ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料				
4	広聴費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
6	会議費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
7	資料作成費		印刷製本費	翻訳料		筆耕料	
			振込料				
8	資料購入代		法規追録代	参考図書代		新聞雑誌等購読料	
			有料データベース等利用料	振込料			
9	人件費		賃金	社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費	事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代	振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)	郵便料等		自動車燃料費(按分)	
			その他				
使用者	川前 光徳	支出年月日	28年6月9日	現金出納簿 支出番号	11	合計	109,500 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 //

会 派 会 長 様



申請代表者氏名 川前 光徳 

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記


請求額	¥	1	0	9	5	0	0	円	(1人あたり 12,166.66 円) 別紙、旅費計算書のとおり
目的	行政調査								
用務先	双葉地方								
内容	福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の現状について 郡山地方広域消防組合と隣接する双葉地方広域消防組合の防災の取り組みについて								
期間	平成28年 6月 15日 ~ 平成28年 6月 15日 (泊 1日)								
行程	別紙のとおり								
出張(調査等)者氏名	(代表者) 近内 利男 ・佐藤 栄作 ・七海 喜久雄 ・森合 秀行 ・大城 宏之 ・ ・久野 三男 ・ ・川前 光徳 ・ ・浜津 和子 ・ ・山口 信雄 ・								
特記事項	バス借り上げ								

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

代表者	経理責任者		受理日	H28年6月9日
			許可日	H28年6月9日
			支出日	H28年6月9日

上記金額を受領しました。

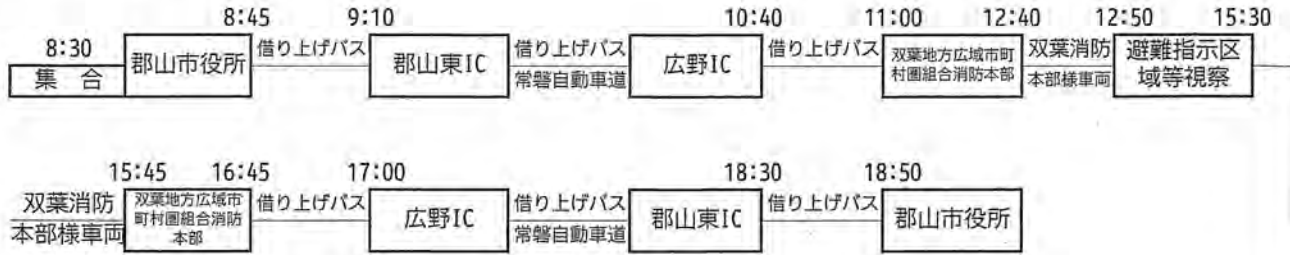
平成28年 6月 9日

申請代表者氏名 川前 光徳 

平成28年度 創風会行政調査行程表・旅費計算

1 行程

□ 1日目：6月15日（水）



2 人員 9 名

七海喜久雄 議員
 大城 宏之 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 川前 光徳 議員
 浜津 和子 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

3 内容

○平成28年6月15日（水）
 双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 ・福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の現状について
 ・郡山地方広域消防組合と隣接する双葉地方広域消防組合の防災の取り組みについて

4 連絡先

○双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 総務課 岡本様
 電話：0240-25-8523 FAX 0240-25-8524

5 旅費計算

バス借り上げ料	96,000円
日当	1,500円×9人=13,500円
合計	109,500円

6 その他

お見積書

下記のとおりお見積り申し上げます

創風会 様

得意先コード FAX 024-953-8128

バス借上げ の件

2016年05月31日 No M16053101

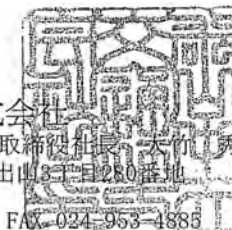
合計金額 ¥ 96,000

納期 受渡地

有効期限

お支払条件

郡山中央交通株式会社
 〒963-0101 代表取締役社長 大竹 秀明
 福島県郡山市安積町日出山3丁目280番地
 担当: XXXXXXXXXX
 TEL 024-953-4884 FAX 024-953-4889



--	--	--

品番・品目	数量	単位	単価	金額	摘要
平成28年6月15日(水) 貸切りバス代金【マイクロバス】	1	台	89,640	89,640	※乗務員1名での運行 ※バスガイドなし
《有料高速道路代金》 郡山東IC ⇄ 広野IC	1	式	6,360	6,360	※通常料金・中型車区分
《行程》 市役所(8時発)⇒双葉地方広域市町村圏組合⇒市役所(17:00着)					※13/240
《座席数》 マイクロバス(正座席22+補助席6)					
《備考》 ※今回の運行に関しましても、弊社が安心して安全な運行をさせて 頂きますので、どうぞ宜しくお願いいたします。					

消費税	内 7,111	総額	¥96,000
-----	---------	----	---------

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 11

会 派 会 長 様



下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・近内 利男		・山口 信雄	
・七海 喜久雄		・佐藤 栄作	
・大城 宏之		・森合 秀行	
・久野 三男		・	
・川前 光徳		・	
・浜津 和子		・	

記

期 間	28年 6月15日 ~ 28年 6月15日 (0泊 1日)					
目 的	行政調査					
用 務 先	双葉地方広域市町村圏組合消防本部					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果						
	別紙のとおり					
旅 費 精 算	受領額	109,500 円	精算額	109,500 円	不足額	0 円

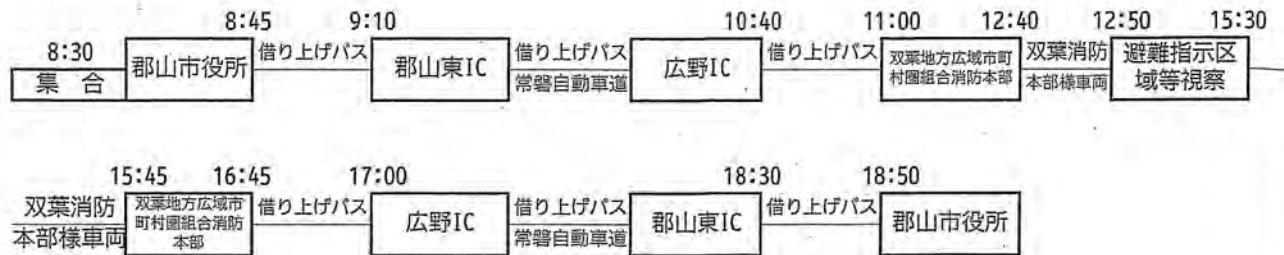
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。						
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	28年	7月 22日
				確 認 日	28年	7月 22日
				精 算 日	28年	7月 22日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成28年度 創風会行政調査行程表・旅費計算

1 行程

□ 1日目：6月15日（水）



2 人員 9 名

七海喜久雄 議員
 大城 宏之 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 川前 光徳 議員
 浜津 和子 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

3 内容

○平成28年6月15日（水）
 双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 ・福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の現状について
 ・郡山地方広域消防組合と隣接する双葉地方広域消防組合の防災の取り組みについて

4 連絡先

○双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 総務課 岡本様
 電話：0240-25-8523 FAX 0240-25-8524

5 旅費計算

バス借上げ料 96,000円
 日当 1,500円×9人=13,500円
 合計 109,500円

6 その他

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証 郡山中央交通株式会社様 No. 2232

金額 96,000-

内 訳

現金	/
小切手	/
手形	/

但し 128,615 - 91,615 = 37,000

2018年7月22日 上記正に領収いたしました

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山3丁目280番

郡山中央交通株式会社

代表取締役社長 大竹 秀明

消費税額等(5%) 4,800

収入印紙 200円

コクヨ ウケ-92

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

行政調査報告書

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故被災地視察


去る6月15日に、双葉地方広域消防本部の大和田仁消防長はじめ本部の皆様の案内で、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示区域内の視察を行いました。まず初めに今もって仮庁舎での業務を余儀なくされる消防本部で東日本大震災後の活動の様子や現在の状況などを伺い、その後モックアップ試験施設や楡葉町天神岬、富岡町震災瓦礫減容化施設、富岡町内、東京電力福島第一原子力発電所、浪江町請戸地区、Jヴィレッジ等を視察いたしました。


限られた時間内ではありましたが、東京電力福島第一原子力発電所4号機の火災時の出動等、原発事故と大震災、津波という想像を絶する複合災害の中、命がけで地域の皆様のために活動した様子や、体制が整いつつありながらも、現在も限られた環境の中で、さらに隊員の皆さんも避難生活を余儀なくされている状況で、隣り合わせている郡山地方広域消防組合とも連携を取りながら、活動されている現況などの説明を受けました。過酷な状況の中で困難な任務にあたってこられた皆さんに敬意を表するとともに、今回の視察でお聞きできた活動の状況や様々な災害にどう対応してきたかの経験談は、今後の郡山市の安全対策施策の中でも必ず生かせると確信いたしました。




双葉地方
広域市町村圏組合消防本部
消防長

消防監 **大和田 仁**



【仮庁舎】千九七九、〇五二三
福島県双葉郡楡葉町山田岡字仲九一、一一〇
Tel.0240-258533
Fax.0240-258534
E-mail:  fire@fukushima-258533.jp



平成28年消防本部スローガン
= 全力でその先へ 双葉消防! =

東日本大震災・福島第一原発事故災害被災地
視察資料

2016. 6.15 Wed



福島第一原発4号機火災出動前[h23.3.16]



福島県
双葉地方広域市町村圏組合消防本部


会派名 創風会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目				金額	小計
1 調査研究費	支出番号11で支出した行政調査旅費(双葉地方)の取り消しに伴う日当の戻し入れ	交通費		旅費	-1,500	自動車燃料費	-1,500
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3 広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4 広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6 会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料			
9 人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	川前 光徳 	支出年月日	平成28年 6 月 27 日	現金出納簿 支出番号	15	合計	-1,500 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 15

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		旅費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	支出番号 11 で支出した行政調査時旅費の取り消しに伴う日当分の戻し入れ 【取消理由】久野三男議員が急な用務により参加できなかったため				
内 容	正当額 108,000円				
	既支出額 109,500円				
	戻入額 1,500円				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
年 月 日				円	
上記のとおり支出します。					
議員氏名 川 前 光 徳 					

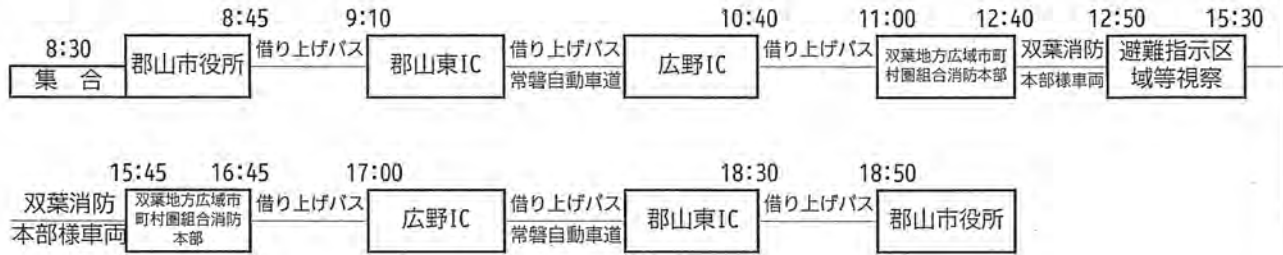
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

平成28年度 創風会行政調査行程表・旅費計算 (変更前)

1 行程

□ 1日目：6月15日(水)



2 人員 9 名

七海喜久雄 議員
 大城 宏之 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 川前 光徳 議員
 浜津 和子 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

3 内容

○平成28年6月15日(水)
 双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 ・福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の現状について
 ・郡山地方広域消防組合と隣接する双葉地方広域消防組合の防災の取り組みについて

4 連絡先

○双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 総務課 岡本様
 電話：0240-25-8523 FAX 0240-25-8524

5 旅費計算

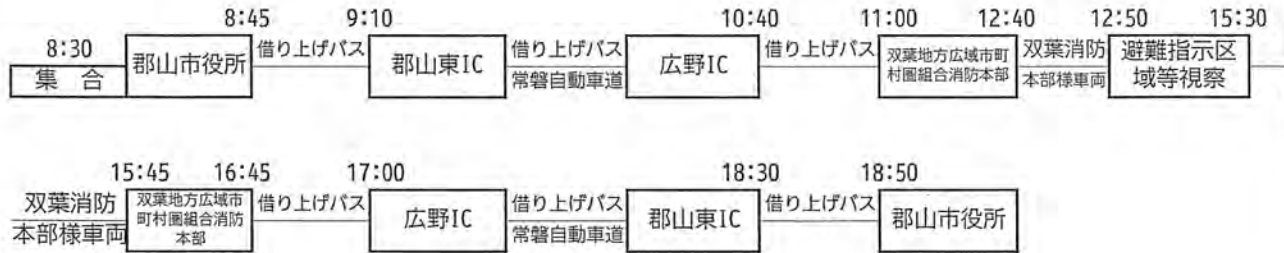
バス借り上げ料	96,000円
日当	1,500円×9人=13,500円
合計	109,500円

6 その他

平成28年度 創風会行政調査行程表・旅費計算 (変更後)

1 行程

□ 1日目：6月15日(水)



2 人員 8 名

七海喜久雄	議員
大城 宏之	議員
近内 利男	議員
川前 光徳	議員
浜津 和子	議員
山口 信雄	議員
佐藤 栄作	議員
森合 秀行	議員

3 内容

- 平成28年6月15日(水)
 双葉地方広域市町村圏組合消防本部
- ・福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の現状について
 - ・郡山地方広域消防組合と隣接する双葉地方広域消防組合の防災の取り組みについて

4 連絡先

○双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 総務課 岡本様
 電話：0240-25-8523 FAX 0240-25-8524

5 旅費計算

バス借上げ料	96,000円
日当	1,500円×8人=12,000円
合計	108,000円

6 その他


会派名 創風会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目・金額				小計	
1	調査研究費 行政調査に係る旅費の不足額 (福島市、いわき市、新地町等)	交通費		旅費	6,008	自動車燃料費	6,008
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料			
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	共通	Ⓢ 支出年月日	H28年6月29日	現金出納簿 支出番号	16	合計	6,008円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 16

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		旅費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	支出番号9で支出した行政調査時旅費の行程等変更に伴う不足額の支出 【行程変更理由】 調査先視察時間の変更に伴う行程の一部変更 ① 6/6の相馬福島道路視察の予定時間超過及び交通渋滞に伴う有料高速道路の使用。 ② 帰りの有料高速道路のルート変更。				
内 容	正当額		253,895円		
	既支出額		247,887円		
	不足額		6,008円		
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
年 月 日				円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	佐藤徹哉 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

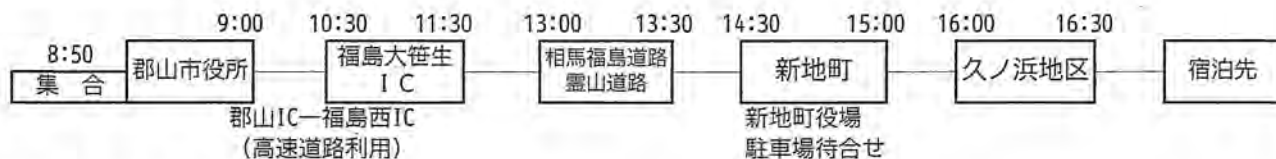
※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

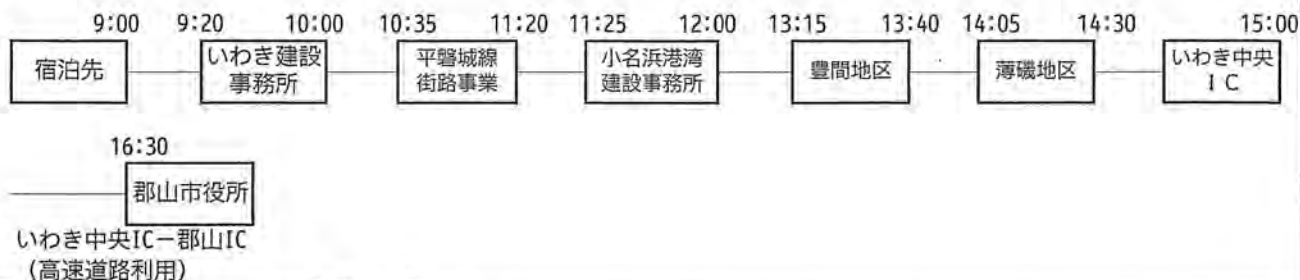
平成28年度 創風会・郡山市議会公明党行政調査行程表、旅費計算

1 行程

□ 1日目：6月6日（月）



□ 2日目：6月7日（火）



2 人員 14 名

(創風会)

大内 嘉明	議員
七海喜久雄	議員
遠藤 義裕	議員
佐藤 政喜	議員
久野 三男	議員
近内 利男	議員
諸越 裕	議員
川前 光徳	議員
佐藤 徹哉	議員
大木 進	議員
山口 信雄	議員
佐藤 栄作	議員
森合 秀行	議員

(郡山市議会公明党)
但野 光夫 議員

3 内容

- 平成28年6月6日（月）
 - ・復興道路等について（大笹生IC、相馬福島道路）
 - ・沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて（新地町沿岸部）
 - ・沿岸部の復興について（久ノ浜地区）
- 平成28年6月7日（火）
 - ・沿岸部の復興について（復興計画、薄磯・豊間地区、平磐城線、小名浜港背後地、小名浜東港等）

4 連絡先

- 福島県いわき建設事務所
復旧・復興部長 加藤様
電話：0246-35-6046 FAX：0246-35-6070
- 企画管理部 企画調査課長 遠藤様
電話：0246-24-6116 FAX：0246-24-6058
- 福島県相双建設事務所
青木部長
電話：0244-26-1185
- 福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課長 笹本様
電話：0246-53-7126 FAX：0246-53-7130

5 旅費計算

(創風会分)
バス借り上げ料 (高速代含む) 208,887円
日当 1,500円×2日×13人=39,000円
合計 247,887円

6 その他

バス借り上げ料 (高速代含む)
創風会負担分 208,887円
公明党負担分 16,068円

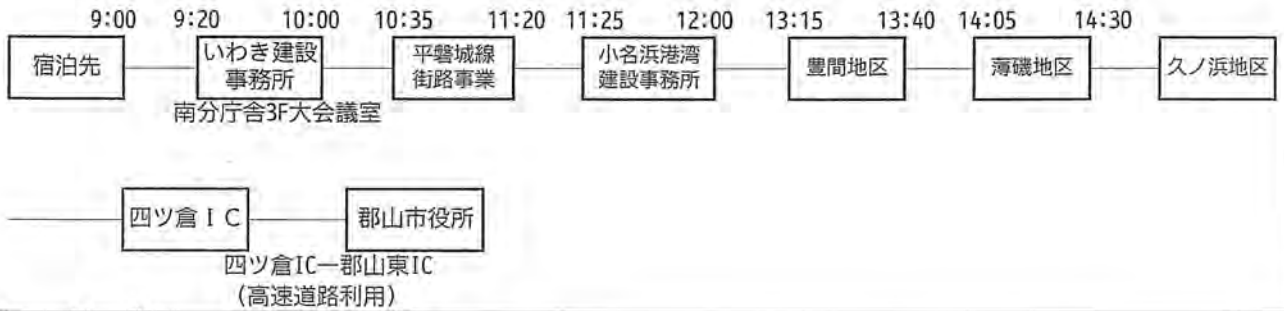
平成28年度 創風会・郡山市議会公明党行政調査行程表、旅費計算（行程変更後）

1 行程

□ 1日目：6月6日（月）



□ 2日目：6月7日（火）



2 人員 14 名

- (創風会)
- 大内 嘉明 議員
 - 七海 喜久雄 議員
 - 遠藤 義裕 議員
 - 佐藤 政喜 議員
 - 久野 三男 議員
 - 近内 利男 議員
 - 諸越 裕 議員
 - 川前 光徳 議員
 - 佐藤 徹哉 議員
 - 大木 進 議員
 - 山口 信雄 議員
 - 佐藤 栄作 議員
 - 森合 秀行 議員
- (郡山市議会公明党)
- 但野 光夫 議員

3 内容

- 平成28年6月6日（月）
 - ・復興道路等について（大笹生IC、相馬福島道路）
 - ・沿岸部津波被災エリアの復興まちづくりについて（新地町沿岸部）
 - ・沿岸部の復興について（久ノ浜地区）
- 平成28年6月7日（火）
 - ・沿岸部の復興について（復興計画、薄磯・豊間地区、平磐城線、小名浜港背後地、小名浜東港等）

4 連絡先

- 福島県いわき建設事務所
復旧・復興部長 加藤様
電話：0246-35-6046 FAX：0246-35-6070
- 企画管理部 企画調査課長 遠藤様
電話：0246-24-6116 FAX：0246-24-6058
- 福島県相双建設事務所
青木部長
電話：0244-26-1185
- 福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課長 笹本様
電話：0246-53-7126 FAX：0246-53-7130

5 旅費計算

(創風会分)	
バス借り上げ料（高速代含む）	214,895円
日当	1,500円×2日×13人=39,000円
合計	253,895円

6 その他

バス借り上げ料（高速代含む）	
創風会負担分	214,895円
公明党負担分	16,530円

領 収 証 創風会 様 No. _____

金額

¥ 231,425 -

内 訳	_____
現金	_____
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	_____

但 6月6日~7日 旅行代金

H28年6月13日 上記正に領収いたしました



福島県郡山市安積町長久保一丁目2番地の1

株式会社 孫 の
代表取締役 山口 松之進



会派名

創風会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目・金額				小計	
1	調査研究費	行政調査（豊田市方面）郡山地域企業戦略研究会 視察研修会	交通費	旅費	273,500	自動車燃料費	273,500
			資料作成費	調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費	講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	食糧費		振込料	
3	広報費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	広報誌（紙）		報告書等印刷費	
			送料（折込料含む）	ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料				
4	広聴費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
6	会議費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
7	資料作成費		印刷製本費	翻訳料		筆耕料	
			振込料				
8	資料購入代		法規追録代	参考図書代		新聞雑誌等購読料	
			有料データベース等利用料	振込料			
9	人件費		賃金	社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費	事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代	振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等（按分）	郵便料等		自動車燃料費（按分）	
			その他				
使用者	川前 光徳 	支出年月日	H28年 7月 5日	現金出納簿 支出番号	21	合計	273,500 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 2/

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 川前 光徳



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求額	¥	2	7	3	5	0	0	円	(1人あたり 54,700円) 別紙、旅費計算書のとおり
目的	行政調査(郡山地域企業戦略研究会 名古屋視察研修会)								
用務先	豊田市								
内容	とよた ecoful town について (トヨタ会館、トヨタ自動車元町工場含む)								
期間	平成28年 7月 13日 ~ 平成28年 7月 14日 (1泊2日)								
行程	別紙のとおり								
出張(調査等)者氏名	(代表者) 七海 喜久雄 ・ 久野 三男 ・ 塩田 義智 ・ 遠藤 義裕 ・ 川前 光徳 ・ ・								
特記事項	なし								

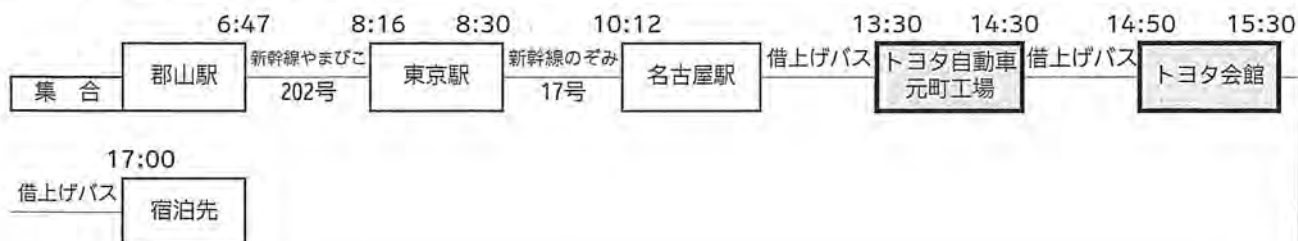
上記のとおり出張（調査等）を許可します。					
代表者	経理責任者			受理日	平成28年7月5日
				許可日	平成28年7月5日
				支出日	平成28年7月5日

上記金額を受領しました。	
平成28年7月5日	申請代表者氏名 川前 光徳

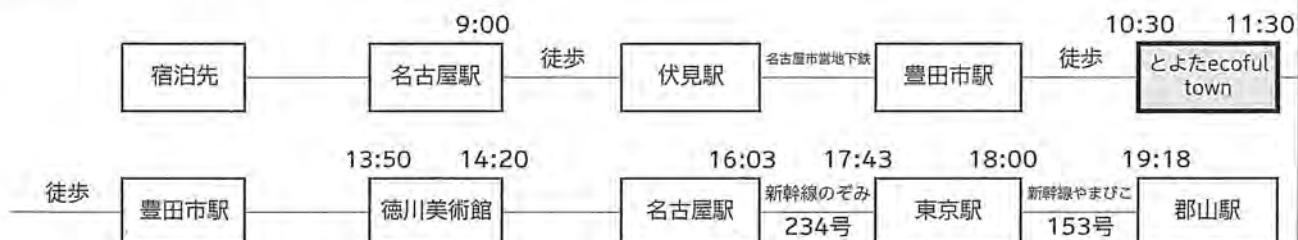
平成28年度 創風会行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：平成28年7月13日（水）



□ 2日目：平成28年7月14日（木）



2 調査者 5名

七海喜久雄 議員
 遠藤 義裕 議員
 久野 三男 議員
 塩田 義智 議員
 川前 光徳 議員

3 調査内容

郡山地域企業戦略研究会主催研修会

◆ 7月13日（水）

①トヨタ自動車元町工場視察 13:30～14:30

②トヨタ会館視察 14:50～15:30

◆ 7月14日（木）

①とよたecoful town視察 10:30～11:30

4 連絡先

郡山地域企業戦略研究会 事務局
 郡山商工会議所産業振興課 様、様
 TEL 024-921-2620 FAX 024-921-2640

5 その他

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 創風会

参加議員 : 七海喜久雄、遠藤義裕、久野三男、塩田義智、川前光徳

日 程 : 平成28年7月13日(水) - 14日(木)

行 先 : トヨタ自動車元町工場 (豊田市元町1)

トヨタ会館 (豊田市トヨタ町1)

豊田エコフルタウン (豊田市元城町3-11)

7月13日	郡山駅	東 京 駅	名 古 屋 駅	貸切バス	トヨタ自動車元町工場	貸切バス	トヨタ会館	貸切バス	宿 泊 先			
	やまびこ202号 226.7	のぞみ17号 366.0										
運 賃	9,290										9,290	
急行料金	4,200	4,830										9,030
グリーン												0
実 費						7,790						7,790

7月14日	宿 泊 先	名 古 屋 駅	伏 見 駅	名古屋市営舞鶴線 30.0	豊 田 市 駅	豊田エコフルタウン	豊 田 市 駅	名鉄豊田線 30.0	伏 見 駅	名 古 屋 駅		
	徒歩	徒歩			徒歩		徒歩		徒歩			
運 賃				760				760				1,520 ※1
急行料金												0
グリーン												0
実 費												0

	名 古 屋 駅	東 京 駅	郡 山 駅									
	のぞみ234号 366.0	やまびこ153号 226.7										
運 賃	9,290										9,290	
急行料金	4,830	4,200										9,030
グリーン												0
実 費												0

※1 主催者算定の実費額(1,270円)を支給

交通費	45,700		45,700	
日 当	1,500 ×	2日 =	3,000	
宿泊費	6,000 ×	1泊 =	6,000	
合 計			54,700 円	× 5名 = 273,500 円

平成 28 年 6 月 吉日

郡山市議会議員
塩田 義智 様

郡山地域企業戦略研究会
会 長 小林 文紀
社会環境委員長 松本 茂

国内最先端の技術を学ぶ
トヨタ自動車本社を巡る名古屋視察研修会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当会事業運営に格別なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年度の視察研修会は、愛知県を訪問し、水素自動車など世界で最先端の技術を誇る「トヨタ自動車」の本社を訪問し、知見を広げたいと存じます。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮とは存じますが、是非ご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 28 年 7 月 13 日 (水)、14 日 (木)
2. 内 容 ・「トヨタ会館」 / 「トヨタ自動車元町工場」(組立工場) / 次世代の環境技術を集約した「とよた ecoful town」ほか
3. 参加費 55,000 円 ※内訳は別紙の通り
(7 月 12 日 (火) までに下記口座へお振り込みお願い致します)
【お振込先】東邦銀行郡山営業部 普通 No.2159214
郡山地域企業戦略研究会 会長 小林 文紀
4. お申込 平成 28 年 6 月 24 日 (金) までに別紙ご記入のうえ、下記へ FAX にてお願いします。

郡山地域企業戦略研究会 事務局
郡山商工会議所 産業振興課 担当 XXXXXXXXXX
TEL 024-921-2620 FAX 024-921-2640

郡山地域企業戦略研究会 名古屋視察研修会

《行程表 (案)》

※郡山駅2F新幹線中央改札口 午前6:30分集合

日時	行程
1日目 7/13(水)	6:47 郡山駅発 - - (やまびこ202号) - - 8:16 / 8:30 東京駅 - - (のぞみ17号) - - 10:12 名古屋駅 - - 11:30~12:50 バス移動 - - 昼食 - - 13:30~14:30 トヨタ工場見学 - - 14:50~15:30 トヨタ会館見学 - - バス移動 - - 17:00 名古屋市内ホテル - - 1日目終了
2日目 7/14(木)	※各自「名古屋駅前」に9:00集合 9:00 名古屋駅発 - - 電車・バスにて移動 - - 10:30~11:30 とよた ecoful town - - 11:30~12:15 昼食 - - 13:50~14:20 バス・電車移動 - - 徳川美術館 - - バス移動 - - 16:03 名古屋駅発 - - 19:18 郡山駅着 - - 解散

※行程は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

経費内訳

宿泊費 6,000円 / 施設入場料 2,200円 / 交通費 36,640円 (新幹線往復)
 バス貸切代 7,290円 (一人あたり負担分) / 有料道路・駐車代 500円
 旅行保険料 500円 / その他経費 1,270円 (2日目の電車、バス代) 計 55,000円

FAX024-921-2640

郡山商工会議所 中小企業相談所 産業振興課 行

平成28年 月 日

平成28年度 名古屋視察研修会

【参加申込書】

7月13日(水)からの視察研修会に参加いたします。

氏名		生年月日		携帯電話	
----	--	------	--	------	--













出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 21

会 派 会 長 様



下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・(代表者) 七海 喜久雄		・	
・久野 三男		・	
・塩田 義智		・	
・遠藤 義裕		・	
・川前 光徳		・	
・		・	

記

期 間	平成28年 7月 13日 ～平成28年 7月 14日（1泊 2日）					
目 的	行政調査					
用 務 先	豊田市					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書の通り					
旅費精算	受領額	273,500円	精算額	273,500円	返納額	0円

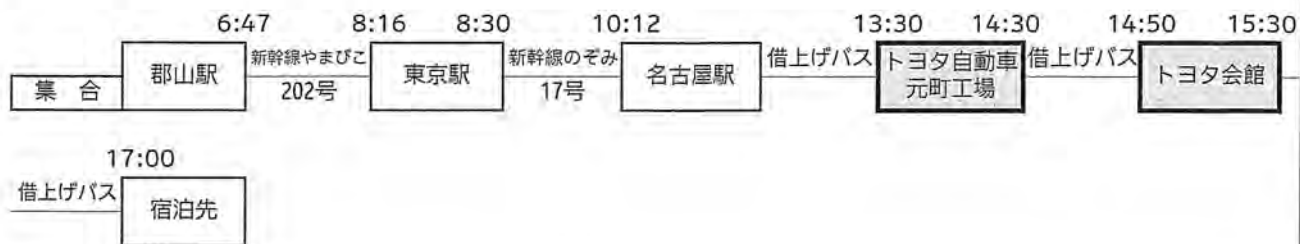
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
代 表 者	経 理 責 任 者			受 理 日	平成28年 7月 5日
				確 認 日	平成28年 7月 5日
				精 算 日	平成28年 7月 15日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

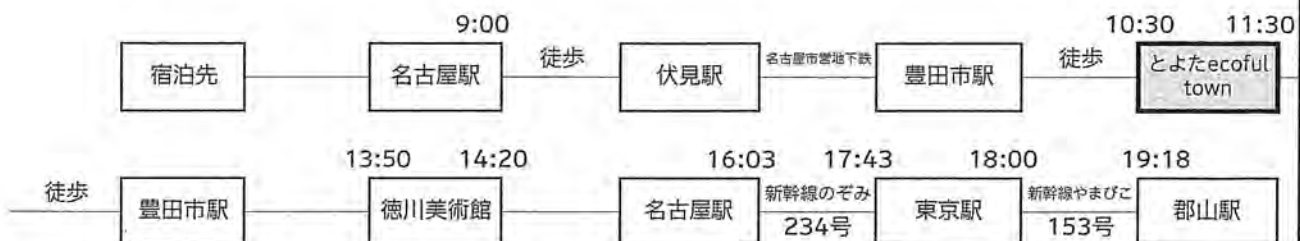
平成28年度 創風会行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：平成28年7月13日（水）



□ 2日目：平成28年7月14日（木）



2 調査者 5名

七海喜久雄 議員
 遠藤 義裕 議員
 久野 三男 議員
 塩田 義智 議員
 川前 光徳 議員

3 調査内容

郡山地域企業戦略研究会主催研修会

◆ 7月13日（水）

- ① トヨタ自動車元町工場視察 13:30～14:30
- ② トヨタ会館視察 14:50～15:30

◆ 7月14日（木）

- ① とよたecoful town視察 10:30～11:30

4 連絡先

郡山地域企業戦略研究会 事務局
 郡山商工会議所産業振興課 〇〇様、〇〇様
 TEL 024-921-2620 FAX 024-921-2640

5 その他



郡山地域企業戦略研究会 名古屋視察研修会

視 察 報 告 書

日 時 ; 平成28年7月13日(水)・14日(木)

参加者 ; 商工会議の会員等 18名

郡山市会議員 5名

{参加メンバーは視察要項に掲載}

視察場所 ; 1、トヨタ自動車組み立て工場

2、トヨタ会館

3、とよたエコフルタウン

(報告書作成担当 ; 久野三男)

郡山地域企業戦略研究会とは、郡山において地域経済を支える中小企業で、中でも「ものづくり」企業の活性化を図るために各種事業を行っている異業種の企業の集まりであります。そこで、定期的に講演会などを通じて企業の経営・製作運営について生きた情報を学び、また、会員の皆様が視察を企画して研修を積んでいます。

この度は、トヨタカローラ福島(株)の佐藤良也様の講習会の開催時に、ぜひトヨタの組み立て工場等の視察をしたいとの意向を反映しての実現となったとのことでした。我々郡山市議会の会員にも呼び

かけがあり 5名の議員が参加させていただきました。

まず、初めにトヨタ本社工場の事務員の方（■■■■さん）よりトヨタ工場の組み立て生産工程の説明を受けました。その内容は、講演会やメディアで紹介されているようにきちっと整理整頓されて洗練されたスムーズな流れ作業の現場でありました。

プレス工場～溶接工場～塗装工場～組み立て工場の流れの説明を受け、そのラインごとに進む過程で分かりやすく説明がありました。

それらの流れは本当に「ムダ・ムラ・ムリ」のない日々の生産研究と人の行動力を的確に考えられ組み込まれた作業工程になっておりました。その目標になっている「ジャストインタイム」「かんばん方式」「カイゼン」が目の当たりに見ることに感激しました。

また、最新鋭の高性能の機械や高速ロボットなどが各所に生かされ組み込まれていました。それに、ラインには人の優しい取り組みや品質には厳しいチェックが各所がありました。

お話の中に、ボトムアップ型の組織として生産システムも、ブランド力、技術力、販売力も「社員が自分たちの頭で考え、問題解決する」ことがトヨタの力であるとの話がありました。

今回の視察で参加した全員がこのトヨタの生産理念と現場主義のシステム、広く自然や社会に対する思考力と取り組みは多いに学び

実行すべき点があると思い、大きな視察研修の収穫でありました。

次にトヨタ会館を訪れました。

館内は、トヨタに関する歴史から社会貢献に関する取り組みについてパネルや模型等によって展示してありました。特に、環境にやさしいエネルギーや自動車の開発、事故を起こさないための安全に対する取り組みは大変興味を引きました。その他、トヨタが実施している品質と効率に関する生産方式などトヨタ自動車の文化の伝承と現在の状況、そして、車づくりの将来などトヨタの最新モデルを通じて展示してありました。

次に、とよたエコフルタウンを視察しました。

ここは次世代の環境技術を集約展示している施設の集合タウンでした。低炭素社会の実現に向けての様々な産業の取り組みと、暮らしの中での自然や地産地消を生かした生活の提案など実際に体感しながらの研修でありました。

特に、交通部門で低炭素のための総合的な取り組みとしての超小型電気自動車「COMS(コムス)」など電動モビリティの充電ステーションやシェアリングサービス拠点などの説明を受けました。また、水

素エネルギーを天然ガスから作る特殊施設を見学しました。ここでの水素ステーションは、水素製造装置を備えたオンサイト型で FCT「MIRAI」10台分の水素を製造・貯蓄することが可能であると説明を受けました。

技術は日進月歩で新しい分野が生まれ進展して行きます。自然を守り低炭素社会の実現のための取り組みは益々人間社会や暮らしを変えて行きます。ただ、まだまだ製造費用が高騰し、また、そのための施設やシステムは追いついていないのが現状です。

今後生産技術や生産量が増えることによってその普及状況や運用環境は進みもっと市民の中に浸透してくると思います。

最後に、スマートハウスを見学しました。住まいと車のエネルギーの連携が活かされ、生活も便利で快適な生活の提案がありそこにも環境を考えてのものづくりがありました。

このタウンは最新技術とその取り組みを体感する施設になっており、低炭素社会の実現に向けての様々な取り組みを紹介していました。ここの取り組みの一部が将来の街づくりと生活の中に変化を生むシステムや取り組みがあると強く感じました。

今回の研修を通じて企業が取り組む分野や姿勢とそれを維持改革するためのしっかりした努力研究が必要だと感じました。

平成 28 年度 視 察 研 修 会

日 時 平成 28 年 7 月 13 (水) ・ 14 日 (木)

行 先 愛知県方面

郡山地域企業戦略研究会